

令和2年度 学校経営計画・学校評価シート

高知県立日高特別支援学校高知みかづき分校

《高知県の教育の基本理念》	(1)学が意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち (2)郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材	目指すべき姿	生徒一人一人がその能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し、意欲的、主体的に社会参加していくことができる人間を育成する。 ① 子どもたちが楽しく学べる学校 ② 保護者が安心して子どもを任せられる学校 ③ 地域にとってなくてはならない存在の学校 ④ 教職員一人一人が力を発揮できる学校	目指すべき取組姿の概要現に	◎ ステップアップシートを最大限に活用した生徒の自立支援 ○ ステップアップシート取扱の習熟と改善、PDCAの確立 ・ 校内の学習と現場実習のPDCAの確立 ・ 生徒の社会的行動の確立 ※ SST、学級会議の開催、仲間同士の関わりの中で、人間関係の維持・形成を図る。 ○ 就労支援 ・ 作業学習の改善、職場見学、ビジネスマナー、地域の事業所での就労体験、現場実習先の拡大 ○ 地域連携 ・ 地域のイベントへの参加、地域での清掃活動、ボランティア活動の推進
《取組の方向性》	①チーム学校の構築 ②厳しい環境にある子どもたちへの支援 ③地域との連携・協働	児童生徒像	「明るくたくましく生き抜く力をもった生徒を育てる」 ① 自己決定できる生徒(見つけよう! なりたい自分) ② 自ら就労を目指す生徒 ③ 生活習慣が確立し社会的行動ができる生徒 ④ 地域と連携し、貢献できる生徒		

《重点取組項目》

(評価 A:目標を十分に達成 B:ほぼ目標を達成 C:やや不十分 D:改善を要する)

項目	取組ねらい【P】	現状と目標【評価指標】	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】	学校関係者評価	見直しのポイント【A】
専門性の向上	ステップアップシート(旧キャリア評価・改善シート)の活用に向けた教員の専門性の向上と、就労による自立を目指す生徒を育成するために必要な指導力の向上に努める。	【現状】 ①ステップアップシートに記載する生徒の実態、課題、支援方法の見極め方にばらつきがある。 ②特別支援学校教諭免許状(知的)の保有率(64.7%:17名中11名)及び全領域(5領域)の保有率(17.6%:3名)を上げていく必要がある。 【目標】 ①生徒のワークスキル及びソーシャルスキルを伸ばすための教師の実践力の向上(ステップアップシートにおける実態分析力、目標・課題設定能力の向上) ②特別支援学校教諭免許状(知的)の保有率80%以上を達成する。加えて、全障害種(5領域)の免許状取得及び2種免許から1種免許への進捗を進める。	①ステップアップシートに記載する際に、教師間で生徒の実態、課題、支援方法について協議し、全教師が共通理解を図る。 ①生徒の課題を把握したうえで、学級と作業学習班の間で、指導の連携及び強化を図る。また、定期的に作業学習の会を開き、生徒の習熟度の確認及び共通理解を図る。 ①ステップアップシートを保護者及び実習先事業所との情報交換資料として活用する。 ②免許法認定講習の計画的受講と単位取得者による免許状申請を進めていく。					
キャリア教育の充実	卒業後の安定した社会生活の実現に向けて身に付けてほしい力を、ステップアップシートを用いて見える化していくことで、生徒の学習意欲の向上につなげ、職業スキル及びソーシャルスキルを高める。	【現状】 ①JSP制度を活用し、外部専門家から職業能力(知識・技能等)向上のための指導・助言を受けている。 ②実習・進路先の確保(96事業所) ③企業就労率81.3%(16名中13名) 【A型含む】→87.8%(16名中14名) ④56回のアフターケアを実施してきた。(平成30年度卒業生の離職1名) ⑤良好な人間関係等の形成に課題があり、ソーシャルスキルの育成が必要である。 【目標】 ①作業学習の精度を高め、生徒の知識・技能等の能力の向上を図る。 ②ステップアップシートを活用し、生徒の職業スキル及びソーシャルスキルの育成を進める。 (一就労率80%以上、問題行動等0件)	①JSP制度を活用し、外部専門家から、さらなる職業能力(知識・技能等)向上のための指導・助言を受ける。 ①ステップアップシート(評価グラフ)を活用し、課題の見える化を図ることで、家庭の協力も得ながら、生徒の課題克服に取り組む。 ②実習・進路先の確保を進路部を中心に取り組む。(100事業所の確保) ③アフターケアを年間60回程度実施し、離職率の縮減に取り組む(離職率10%以下とする)。 ④月2回の学級会議を開催し、そのうちの1回の会議において、SNS、ソーシャルスキル、性に関する行動について、学級内でグループディスカッションを実施する。 ⑤ステップアップシート(ソーシャルスキル領域)を活用し、学校生活全般における生活習慣の指導の徹底に取り組む。(遅刻0%)					
学校設定項目	地域における清掃活動やボランティア活動等の貢献活動を通して、生徒の自己肯定感を高めるとともに、働くことに対する意欲を育てていく。	【現状】 ①商店街での清掃活動は、週当たり2回実施している。 ②みかづき祭りに参加している。(昨年度)生徒15名、保護者15名 ③よさこい祭り(清掃、給水ボランティア活動)(昨年度)生徒35名 【目標】 ①校外での作業活動(清掃)の推進 ②地域社会への貢献(地域のイベント参加率の向上)に努める。 ※「働く」ことの意義理解につなげる。	①生徒集会、PTA総会などの年度初めの行事において、地域社会への貢献活動の実施及び参加の要請を行う。 ①地域の清掃活動を週当たり2回実施することで、みかづき分校の取組をアピールし、障害者に対する理解・啓発に努める。 ②生徒会に地域での貢献活動について協力を呼びかけ、生徒たちによる協議のもと、生徒の主体的な貢献活動を形成していく。					
働き方改革	健康で活性化された職場づくりに努める。	【現状】 ①分掌業務の平準化と引継ぎによる役割の分散が十分ではない。 ②指導案・教材等の共有化が未整備 ③時間外勤務時間の平均(20.1時間) 【目標】 ①分掌業務の平準化と役割の公平化を促進する。 ②教科指導に関する情報の共有化を図るために、学習指導案・教材の電子データ化を進める。 ③時間外勤務時間の縮減を図り、月当たりの時間外勤務時間を40時間以下とする。	①③分掌業務の平準化を分掌部長と管理職が連携して進め、時間外勤務時間の縮減を図る。 ②共有フォルダ内に教材フォルダを作成し、学習指導案及び教材のデータを保存していくことで、全教職員の共有財産化を進め、業務の効率化を図る。 ③長期休業中に学校閉庁日(一斉休業日)を設定し、リフレッシュのための休暇の取得を促進する。					